２０２５年２月２５日

株式会社あいち銀行

# 名古屋港水族館×中京大学×あいち銀行
# 産学連携企画の実施について

株式会社あいち銀行（頭取　伊藤 行記）は、名古屋港水族館および中京大学と産学連携企画に取り組み、このたび最終報告会を行いましたのでお知らせいたします。

名古屋港水族館では、国内外問わず増加する来館者の多様なニーズを把握し、より魅力ある観光施設づくりを目指しています。あいち銀行は産学連携による課題解決への取組みとして、戦略・マーケティング手法を用いた提言活動を行っている中京大学経営学部中村ゼミへの橋渡しを行いました。

２０２４年４月より同ゼミにおいてフィールドワークや複数回にわたる現地でのアンケート調査などを行い、分析結果ならびに学生視点を活かした提言の報告会の開催に至ったものです。

当行は今後も、産学連携を通じてお取引先企業の課題解決支援および地域経済の活性化に取り組んでまいります。

記

## １．産学連携企画の概要

| | |
|---|---|
| 目　　的 | 名古屋港水族館の来館者数増加に向けて多様化するニーズの把握 |
| 期　　間 | ２０２４年４月～２０２５年１月（約９か月） |
| 参 加 者 | 中京大学経営学部中村雅章ゼミの学生４名 |
| 取組内容 | ・フィールドワークを通じた名古屋港水族館の実態把握<br>・国内外からの来館者に対するアンケート調査<br>・調査分析結果の報告、魅力ある観光施設づくりにつながる提言 |

## ２．最終報告会

（１）２月２０日（木）に名古屋港水族館で最終報告会が開催され、中村ゼミの学生による調査分析結果の報告、ならびに魅力ある観光施設づくりにつながる提言がなされました。

（２）学生からの主な提言内容

| 対象 | 提言事項 |
| --- | --- |
| 日本人来館者向け | ①水族館近辺、遠方の人に対する効果的な集客<br>②推しの生き物の活用<br>③中高年層へのアプローチ<br>④価格プロモーションの展開<br>⑤水族館と来館者のニーズの両立 |
| 外国人来館者向け | ①アジア圏へのアプローチ<br>②広告・情報発信の強化<br>③水族館に関する体験の向上 |

＜最終報告会の様子＞

＜参考①：アンケート調査について＞

| | |
|---|---|
| 調 査 日 | ２０２４年８月１８日(日)、９月１５日(日)、９月２２日(日)の３日間 |
| 対 象 者 | 名古屋港水族館の来館者（インバウンド観光客も対象） |
| 収 集 数 | 日本人１，００６サンプル、外国人１４２サンプル |
| 分析方法 | 全体集計、クロス集計、相関分析 |

＜参考②：学校法人梅村学園との包括連携協定について＞

あいち銀行は、中京大学を運営する学校法人梅村学園との間で「包括的連携に関する協定書」を締結しており、地域社会の振興と発展に寄与するため相互に連携・協力を行っております。

以　上